|  |  |
| --- | --- |
| 2020年度 | 事業報告書 |

特定非営利活動法人全国盲ろう児教育・支援協会

１　事業の成果

　　定款上の「事業の種類」ごとに記載してください。

　当協会は２０１９年４月に設立・登記して以来、社会福祉法人全国盲ろう者協会と密接に連携して、文部科学省などの関係方面に対し、わが国における盲ろう教育の推進を強く訴えてきました。その結果、２０２０年度文部科学省予算には、盲ろう児に対する特別支援教育に関する研究事業の予算が計上されました。

　当協会では、この研究事業(委託研究)を自ら担うことで、わが国における盲ろう教育の推進に寄与したいと考え、文部科学省からの公募を受けて、これまで盲ろう教育にかかわってきた国内の様々な研究者、研究機関などに幅広く働きかけて研究体制を整え、事業計画書を提出しました。しかしながら、新型コロナ感染症の流行拡大により、文部科学省において、いったん公募した事業を中止するという全く異例の事態となり、当協会としても、本事業の実施は見送らざるを得ませんでした。

　また、この文部科学省の予算とは別に、これまでの粘り強い調整が実を結んで、２０２０年度においては、盲ろう児とその家族に対する訪問相談や盲ろう児のキャンプなどの支援事業の実施に向けて、ファーストリテイリング財団から多額の助成金を得ることが出来ました。しかしながら、盲ろう児や家族への支援には、接触や接近が欠かせないことや、万一、盲ろう児が新型コロナウイルスに感染した場合の隔離や入院治療の困難性などを考慮すると、コロナ禍の中で盲ろう児支援事業の実施は、極めてリスクが高いことから、誠に遺憾ながら、２０２０年度に当協会が計画していた支援事業については、全面的に「凍結」せざるを得ませんでした。(受領した助成金については、翌年度に繰り越す方向で調整)

　このように、当協会は、２０２０年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事実上、全面的に活動を「凍結」せざるを得ない状況となりましたが、２０２１年度においては、新型コロナウイルス感染症の動向を慎重に見極めながら、活動再開に向けた準備を進めていきます。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【　24】千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載  された  事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者  人数 | 受益  対象者  範囲 | 受益  対象者  人数 | 事業費  （千円） |
| 盲ろう児に関する啓発事業 | 盲ろう児支援に関するパンフレットを配布した。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 盲ろう児  家族及び関係者等 | 不確定 | 0 |
| 協会のホームページを作成し、盲ろう児支援に関する啓発を行った。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 新聞等のメディアに対して盲ろう児支援に関する情報発信を行った。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 盲ろう児の保護者に対する相談事業 | 電話、メール、オンラインなどにより可能な範囲での相談に対応した。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 24 |
| 盲ろう児及び盲ろう教育全般に関する調査・研究事業 | 盲ろう教育に関する調査・研究事業の予算再計上に向けて、文部科学省に対する要望活動を行った。 | 4月以降 | 東京 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 盲ろう教育に関する文部科学省の委託研究事業の実施に向けて、幅広く関係者に呼びかけて「盲ろう児に対する特別支援教育に関する研究委員会(代表　福島智)」を設置し、研究事業の準備を進めた。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |

（２）その他の事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【　　　　】千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載  された  事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者  人数 | 事業費  （千円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |